

令和6年度安全運輸報告書

○輸送の安全に関する基本的な方針(安全方針)

- ①社長は、**輸送の安全確保**が事業経営の根幹であることを深く認識し、輸送の安全の確保に主導的な役割を果たす。また、安全に関する現場の声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全が最も重要であるという意識を徹底させる。
- ②輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善<Plan Do Check Act>を確実に実施し安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって業務を遂行し、絶えず、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表する。

○輸送の安全に関する目標(安全目標)及び目標の達成状況

目標	達成状況
重大事故「ゼロ」	○ 発生件数 : 0件
有責事故(自損含む) 前年度比50%減	○ 発生件数 : 0件

○事故に関する統計

自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

令和4年度	0件
令和5年度	0件
令和6年度	0件

○輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置

○運転者に対する安全教育
国土交通省の運転者に対する指導監督指針等の内容を月1指導

○輸送の安全に関わる予算	
①運転適性診断費	100,000円
②ドライブレコーダー・デジタコ導入費	550,000円
③脳ドック(脳MRI)診断費	200,000円
④SASスクリーニング検査費	100,000円
⑤車両ハード面安全対策費	100,000円
計	1,050,000円

○輸送の安全に関わる情報の伝達その他の組織体制

- 別紙参照

○輸送の安全に関わる教育及び研修の実施状況

- 国土交通省の乗務員に対する指導監督指針に沿って安全教育を月1実施
- 災害時に向けた消防訓練を年に1度実施(消防署より指導)

○輸送の安全に関わる内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び講じようとする措置

- 本社営業所 内部監査結果:ヒヤリハットの社内周知が必要 措置:ヒヤリハットを社内掲示し、社内周知す
- 福岡営業所 内部監査結果:ヒヤリハットの件数が少ない 措置:件数を1件/人(月)を目標に設定した

○安全管理規定

- 別紙参照

○安全統括管理者

- 代表取締役 田中敏則

多久観光バス株式会社 代表取締役社長 田中敏則

